

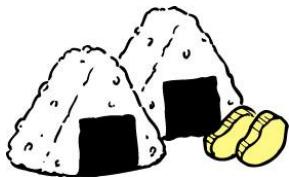
学校坂道

～ 校長だより～



「元気」と「笑顔」

2026年(令和8年)1月16日



1月17日 と言えば…？

1月17日は、阪神・淡路大震災が発生した日(1995年)です。
大きな被害があり、寒さ厳しい時期に、多くの方たちが避難生活をすることになりました。

そのとき、多くのボランティアの方たちによって届けられたのが「おむすび」です。
すぐに食べることができる「おむすび」に、「気持ちをつなぐ、気持ちを結ぶ」ということを込めて、この日を『おむすびの日』とするようになったようです。

〔一考〕「おむすび」と「おにぎり」に違いはあるのでしょうか？

おにぎりは「握る」、おむすびは「結ぶ」という漢字が当てられそうです。
すもしも「握り」と言いますから、おにぎりは、かたち作って食べるものの総称のような気がします。

形状も、丸や俵のかたちをイメージします。

握らず整える(かたちづくる)ことで、「にぎらず」というものも出てきました。

一方、おむすびは、三角のかたちをイメージします。

わたしは、おむすびという言い方に慣れていて、ひょっとして「関ヶ原」辺りで分かれ…、西日本では「おむすび」なのかなあと思ってしまいます。

大震災の時に届けられたおむすび…、確かに、阪神・淡路は西日本です。

わたしは、形も、こどものころから三角に親しみがあります。

※コンビニエンスストアに行って確かめてみると、「塩にぎり」「塩むすび」とあり、
にぎりは丸、むすびは三角になっていました。

「結ぶ」とは何を示すのか、気になりますが…。

この違いには、きっと文化的な背景があるのだろうと思います。

Practices that I set for myself can improve my skills more than those imposed by others.

～ 他人から課された練習より、自分で課した練習の方が、実力を上げることができる～